

令和6年度 愛媛大学
高等学校教諭一種（情報）免許法認定講習
実施要項



愛媛大学免許法認定通信教育事務局

令和6年度 愛媛大学 高等学校教諭一種（情報） 免許法認定講習 実施要項

1. 目的

本講習は教育職員免許法の規定に基づき、現職教職員が新たに高等学校教諭一種免許状（情報）を取得するための機会を提供し、必要な単位を修得させるとともに、現職教員の資質向上を図ることを目的とします。

※本講習は単位修得のみを目的としています。

※免許状の取得には、本講習とは別に行政手続きが必要です。

※免許状の取得に必要な単位数等については、受講申込み前に所属の教育委員会の教員免許状担当部署にご自身でお問い合わせください。

2. 開講期間

令和6年9月17日（火）～令和7年1月31日（金）

3. 実施機関

愛媛大学教育学部

4. 受講対象者

高等学校教諭専修免許状または一種免許状を有しているもので、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得を希望する者。

5. 開講科目と単位数

高等学校教諭専修免許状または一種免許状を有する者が、高等学校教諭一種免許状（情報）を取得する場合、24単位が必要です。本学では、令和6年度はそのうちの10単位分（6科目）を開講・実施します。

詳しい開講科目の概要・講師については別紙1をご確認ください。

科目名	単位
(1) データ構造とアルゴリズム	2
(2) プログラミング言語I（演習・実習含む。）	2
(3) 計測・制御システムの設計	2
(4) 情報システム概論	2
(5) 情報通信システム概論（実習を含む。）	1
(6) マルチメディア概論（実習を含む。）	1

6. 受講方法

本認定講習では、愛媛大学が独自に開発した遠隔学習支援システム「志（こころざし）」及びビデオミーティングシステム Zoom[®]を用います。各自インターネット接続が可能な、キーボードとカメラが搭載された端末（パソコン推奨）をご準備ください。

授業でプログラミング等を扱うことがありますので、小さなスマートフォンの画面やキーボードがないタブレット端末などでは作業が難しくなります。そのためパソコンの使用を強く推奨します。

詳細については、別紙2をご確認ください。

① 「志」に登録し
動画を視聴する



② Zoom[®]で同期型授業、および
最終試験を受ける（本人確認のため）

7. オンライン・ガイダンス、リアルタイム遠隔授業、および最終試験について

- オンライン・ガイダンスは、全受講者対象となっております。
- リアルタイム遠隔授業、および最終試験は、科目ごとに実施回数、実施日時が決定しておりますので、お申し込みの前に必ず出席可能か、**別紙3**をご確認ください。
- 当日のZoom[®]のミーティングIDやパスワードについては、遠隔学習支援システム「志」の当該科目「講座お知らせ」欄等に掲載ご案内いたします。
- オンライン・ガイダンス、リアルタイム遠隔授業、および最終試験では、Zoom[®]で接続の上、出欠の確認を行います。必ず事前にお使いのパソコンでZoom[®]へログインをし、ミーティングへご参加可能であることを、正常に作動することをご確認ください。

8. 受講料（テキスト代別）

「志」システム利用料	科目受講料
5,344 円 (Peatix 手数料 344 円含む)	1 科目 5,344 円 (Peatix 手数料 344 円含む)

受講料収納は Peatix が代行します。Peatix 手数料は受講者負担となりますのでご了承ください。

例：2 科目を受講した場合

→ 「志」システム利用料 5,344 円 + 5,344 円 × 2 科目 = 16,032 円

9. 受講出願から履修開始までの流れ

(1) 準備物について

- ご自身の顔写真付きの身分証明書（ご本人確認用：運転免許証、マイナンバーカードなど）
- 学校勤務の方は所属長の承認 **別紙様式1**（受講承諾書）
それ以外の方は届出 **別紙様式2**（申込時届出）
※ 別紙様式1または2のいずれか1通を必ず提出のこと

○ メールアドレス

容量の大きな添付ファイルの受信が可能なメールアドレス（Gmail 推奨）をご準備ください。
志の仕様上、hotmail、および Outlook への自動送信ができない事象が確認されております。

hotmail、Outlook 以外のアドレスの準備をお願いいたします。事務局からの連絡は、受講開始前は電子メール、受講開始後は志システムでの案内を原則とし、個別のご連絡は電子メールにて行います。

(2) 受講出願から履修開始までの流れ (随時ホームページのお知らせ等をご確認ください)

■チケット購入

愛媛大学免許法認定講習ホームページ-入学案内- Web 出願ボタンをクリックすると、Peatix 出願・決済用ページに遷移します。

Peatix の使い方等については、Peatix ホームページのヘルプをご参照ください。
(<https://help-attendee.peatix.com/ja-JP/support/home>)

チケット選択画面で、『「志」システム利用料』のチケット数に「1」、
受講を希望される科目 (複数選択可) のチケット数に「1」を入れ、決済方法を選択し、**次に進む**をクリックしてください。

申込形態の移行に伴い、Web 出願と同時に決済を行うことができるようになります。コンビニ/ATM でのお支払いを選択する場合は、締切日にご注意ください。



■チケット選択・決済

Step 1
Web 出願提出

チケット選択
令和6年度 愛媛大学高等学校教諭一種 (情報) 免許法認定講習 受講手続き

「志」システム利用料 ¥5,344	<input type="text" value="1"/>
データ構造とアルゴリズム (2単位) ¥5,344	<input type="text" value="1"/>
プログラミング言語 I (演習・実習含む。) (2単位) ¥5,344	<input type="text" value="1"/>
計測・制御システムの設計 (2単位) ¥5,344	<input type="text" value="1"/>

支払い方法を選択

	コンビニ / ATM + 手数料 ¥220	PayPal 銀行
--	--------------------------	-------------

クレジットカードの代わりにプリペイドカードも使えます。詳しく

請求先情報へ進む

戻る

各科目とも、申込期限より前でも、定員に達し次第、締め切らせていただきますので、早めに出願手続き完了までをお済ませください。

申込期間 **令和6年8月19日 (月) 17:00** から
令和6年9月17日 (火) 16:00

締め切り日以降のお申し込みは、リアルタイム遠隔授業へのご参加準備が整わない等、受講者の方の不利益が発生するおそれがあるためお断りしております。

次の画面で、E-mail アドレス、氏名、カタカナ氏名、生年月日、住所、電話番号、(職業、勤務先)を入力してください。(*のついている項目は入力必須項目です)

主催者からの事前アンケート
令和6年度 愛媛大学高等学校教諭一種(情報) 免許法認定講習 受講手続き

チケット選択 —— アンケート —— 請求先情報 —— ご確認 —— 支払い情報 ——

申込者氏名(漢字) (例: 愛媛 花子) *

申込者氏名(ふりがな) (例: えひめ はなこ) *

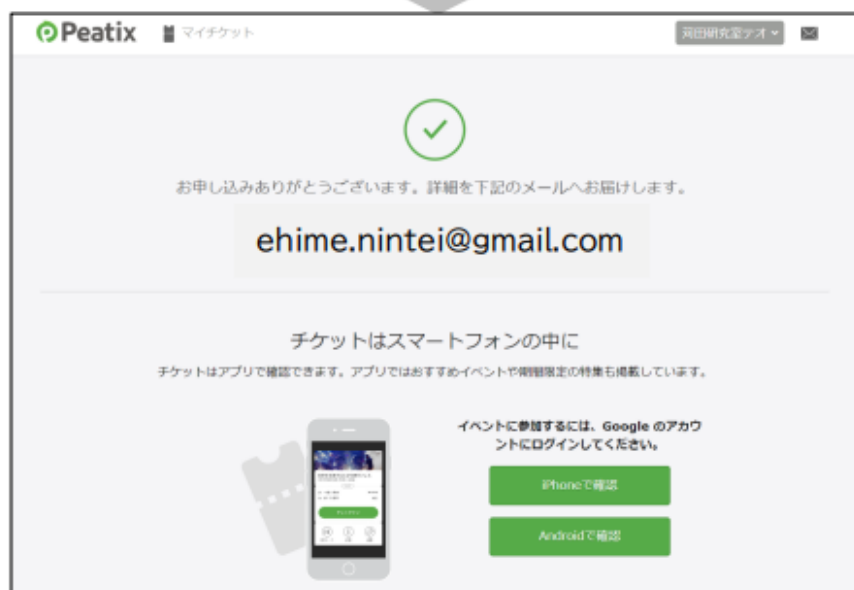
英文氏名* (例: EHIME Hanako) *

郵便番号 *

チケット	
「志」システム利用料	
1 ×	¥5,344
データ構造とアルゴリズム (2単位)	
1 ×	¥5,344
小計	¥10,688
手数料	¥220
合計	¥10,908

支払い方法
コンビニ / ATM

Step 2
決済



入力が完了しましたら、Peatix から「注文番号」が自動送信されますので、その番号を控えておいてください。

(tickets@peatix.com からのメールが確実に届くよう、迷惑メールの設定をあらかじめ解除願います。)

※本講習はオンデマンド型のため、初日からの受講でなくても全ての内容の受講が可能です。

<p>Step 3 必要書類 アップロード</p>	<p>■必要書類のアップロード</p> <p>Step2の出願・決済完了から事務局 5 営業日以内に、愛媛大学免許法認定教育ホームページ-入学案内-添付ファイル提出フォームに、① Step2 で発行された Peatix 注文番号，②身分証明書の写し，③学校等勤務の方は所属長の承認 別紙様式 1（受講承諾書），それ以外の方は届出 別紙様式 2（申込時届出）をアップロードしてください。</p>
<p>注意事項</p>	<p>※決済日に関わらず，申込期間終了後の令和 6 年 9 月 17 日（火）16:00 より，一斉に「志」UserID および受講決定通知書の発行手続きをいたします。</p> <p>※締め切り日を過ぎますと購入ができなくなりますのでご注意ください。</p> <p>※一度納入された「志」システム利用料，受講料の返金はいたしません。</p> <p>出願・決済の際には，ご予定と重なっていないか等を十分考慮のうえ，ご自身が受講される科目のチケットであることを確認してから行ってください。</p> <p>※チケットは購入したご本人のみが使用可能です。売買・譲渡はできません。</p>
<p>Step 4 受講決定通知書 発行</p>	<p>■受講決定通知書発行</p> <p>事務局にて出願書類の確認ができた方には，学内手続き完了後にご登録のメールアドレス宛に「受講決定通知書」が送信されます。受講科目の間違いがなければ再度ご確認ください。</p> <p>ご提出の書類に不備等がない方は，これで出願手続き完了となります。提出書類・内容に不備等がある方，また Step3 の期限を超えても必要書類のアップロードを完了されていない方には，事務局よりご連絡させていただきます。</p>
<p>Step 5 「志」へのログイン</p>	<p>■「志」の UserID・Password の受取・受講に向けての準備</p> <p>遠隔学習支援システム「志」へログインするための「UserID・Password」が，ご登録のメールアドレスに送信されます。「UserID・Password」を受け取られましたら，受講に向けての準備として，「志」へのログインをお試しく下さい。</p> <p>「志」へログインができましたら，顔認証のためにご自身の顔画像を登録し，事務局の承認をお待ち下さい。登録された顔画像の承認は，事務局が<u>平日の 11 時頃</u>に行います。顔画像の登録を実施されたデバイス（複数登録可）で受講は可能ですが，顔認証の精度を上げるため，できる限り同じ環境下での受講を心掛けてください。</p>
<p>Step 6 顔認証用 画像登録</p>	<p>ログインが完了しましたら，顔認証のためにご自身の顔画像を登録し，事務局の承認をお待ち下さい。登録された顔画像の承認は，事務局が<u>平日の 11 時頃</u>に行います。複数のデバイスで顔画像の登録は可能ですが，顔認証の精度を上げるため，できる限り同じ環境下での受講をお勧めいたします。</p>



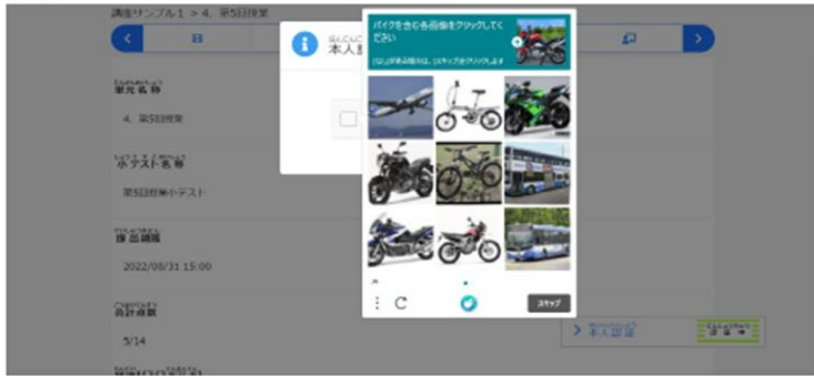
履修開始

(3) 受講中の顔認証について

- **別紙2**を併せてご確認ください。
- 本講習は、着座率を確認するために、遠隔学習支援システム「志」で動画視聴中、操作時ほかランダムに顔認証を行っております。これは文部科学省から、出席率（動画視聴等）やレポートの提出が本人により行われていることを確実に確認するように指導を受けているためです。そのため、リアルタイム遠隔授業及び最終試験はビデオミーティングシステム（Zoom[®]等）を使って事務局が本人確認を実施しながら行いますので、ご了承ください。
- リアルタイム遠隔授業及び最終試験では、キーボードとカメラが搭載された端末（パソコンを推奨）をご準備ください。
- 「志」では動画視聴中に、画面右下に顔認証の状況が表示されます。必ずカメラが接続され、オンになっているかをご確認ください。カメラがオンになっているにも関わらず『本人認証NG』が表示された場合、画面右下の「本人認証」から受講中断をし、正しく認証されるために正面を向いて受講再開をしてください。顔認証がNGとなったままで受講している場合、成績評価時に本人が受講していると認められない場合がございますので、ご注意ください。
- 顔認証で複数回NGが出た場合など、CAPTCHA 認証（画像・音声・文字入力の3種類）が表示されることがあります。CAPTCHA 認証が受講中に画面に表示された場合はご対応ください。なお、表示されるCAPTCHA 認証はアクセシビリティ設定で変更可能です。ご自身が答えにくいと思われる認証方法は、あらかじめアクセシビリティ設定でチェックを外してください。
- リアルタイム遠隔授業の開始時と終了時に、「志」の小テストによる顔認証を利用して本人確認を行います。リアルタイム遠隔授業前に必ずカメラが接続され、オンになっていることを確認してください。カメラがオフの場合はCAPTCHA 認証（画像、音声、文字入力による認証）を求められます。その場合は、カメラをオンにしてもう一度小テストに取り組んでください。

CAPTCHA認証を変更した場合

画像



文字



音声



(4) 成績審査の方法

成績審査は、①動画の視聴状況、②課題（確認テスト or レポート）の提出状況、③リアルタイム遠隔授業の出席および課題提出、④最終試験の結果の4点を総合して審査します。

最終試験の実施日は、**別紙 3** をご確認ください。

- 最終試験の受験資格（こちらを満たしていない場合には、受験いただいても原則審査しません。）
 - ・ 令和7年1月20日（月）13:00までに、「志」上の受講科目の動画を原則 80%以上 視聴していること。
 - ・ 提出期限内に課題（確認テスト、レポートなど）を 全て提出 していること。
- 総合的に審査した結果、合格した方に「単位修得証明書（学力に関する証明書）」を発行します。書類は令和7年2月下旬～3月上旬に送付予定です。
- 「単位修得証明書（学力に関する証明書）」の先行発行は致しかねます。

10. 免許状の取得について

免許状を取得するには、「単位修得証明書（学力に関する証明書）」を所属の教育委員会にご自身で提出する必要があります。免許状の取得申請については、受講前に所属の教育委員会の教員免許状担当部署にご自身でご確認ください。

11. その他

- (1) 人権を侵害する行為（例：ハラスメント）、試験等における不正行為・論文やレポート等の作成における学問的倫理に反する行為（例：剽窃行為）、教育研究等の業務を妨害する行為（例：授業妨害）等は、愛媛大学学生懲戒処分規定に準ずる形で対処いたします。
- (2) 受講期間中、やむを得ず通信教育を辞退する場合には、必ず**別紙様式 3**の受講辞退届を記入し、辞退届受理期限内に「12. お問い合わせ先」の愛媛大学免許法認定通信教育事務局までメールにてご提出ください。辞退される場合（受講科目間違い等の辞退も含む）、受講料の返還はいたしません。

辞退届受理期限：令和7年1月20日（月）13:00

- (3) 提出された個人情報、本講習に関わる目的にのみ使用し、他の目的には使用いたしません。
- (4) 事務局の休業について
 - 土曜日・日曜日・祝日
 - 事務局休業：令和6年7月31日（水）
 - 夏季休業：令和6年8月13日（火）～令和6年8月16日（金）
 - 年末年始休業：令和6年12月30日（月）～令和7年1月3日（金）

12. お問い合わせ先

愛媛大学免許法認定通信教育事務局

メールアドレス： eu.nintei@gmail.com

ホームページ： <https://ninteikoshu.ed.ehime-u.ac.jp/>

※ お問い合わせの前に、FAQ（よくある質問）をご確認ください。

開講後も随時更新します。

※ それ以外の質問は受講者専用お問い合わせフォームをご利用ください。



令和6年度 愛媛大学 高等学校教諭一種（情報）免許法認定講習
開設科目及び担当講師一覧・テキスト

免許状の種類 (領域)	免許法施行規則に定める科目 区分等		開設科目名	授与 単位	期間	募集人 数
	科目	各科目に含める必要事 項	中心となる領域			
			含む領域			
高一種免 (情報)	教科	コンピュータ・情報処 理	○データ構造とアルゴリズム (R6 認定講習)	2	令和6年 9月17日 ～ 令和7年 1月31日	50名
高一種免 (情報)	教科	コンピュータ・情報処 理	プログラミング言語I (演習・ 実習含む。) (R6 認定講習)	2	令和6年 9月17日 ～ 令和7年 1月31日	50名
高一種免 (情報)	教科	情報システム	計測・制御システムの設計 (R6 認定講習)	2	令和6年 9月17日 ～ 令和7年 1月31日	50名
高一種免 (情報)	教科	情報システム	○情報システム概論 (R6 認定講習)	2	令和6年 9月17日 ～ 令和7年 1月31日	50名
高一種免 (情報)	教科	情報通信ネットワー ク	○情報通信システム概論 (実習 を含む。) (R6 認定講習)	1	令和6年 9月17日 ～ 令和7年 1月31日	50名
高一種免 (情報)	教科	マルチメディア表現・ マルチメディア技術	○マルチメディア概論 (実習を 含む。) (R6 認定講習)	1	令和6年 9月17日 ～ 令和7年 1月31日	50名

科目名の前に「○」がついている科目は、法的基準（施行規則に定める科目区分等）の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。

科目概要と担当講師一覧

No.	開設科目	科目の概要	講師
1	データ構造とアルゴリズム	アルゴリズムをつかひこなす第一歩を学ぶ。具体的には、様々な分野の代表的なアルゴリズムを紹介し、プログラム化する方法を学ぶ。アルゴリズムが用途にあうかどうかを判断する最も重要な基準の一つである計算量についても学ぶ。	河村 泰之 愛媛大学教育学部 准教授
2	プログラミング言語 I (演習・実習含む。)	実技演習を通して、高校におけるプログラミング教育の指導に必要な基礎的な知識、技能を身につける。	河村 泰之 愛媛大学教育学部 准教授
3	計測・制御システムの設計	計測の基礎と制御システムを設計するための基本的原理、方法を学ぶ。ソフトウェア設計はもとより、計測・制御システムに必要なセンサやアクチュエータ、AD/DA 変換の原理についても取り扱う。	大西 義浩 愛媛大学教育学部 教授
4	情報システム概論	情報システムを構成しているハードウェア及びソフトウェアの基本的な役割や動作を学習する。具体的には、コンピュータの構成、2進数、16進数、文字コード、パリティチェック、サンプリング、量子化、符号化、データの圧縮、論理回路の基礎、組み込みシステム、プログラミング、システム工学などについて紹介する。また、知識の習得だけでなく、シミュレーション等を通して実際の動作を確認し学ぶ。	今井 慎一 東京学芸大学教育学部 准教授 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科 准教授
5	情報通信システム概論 (実習を含む。)	情報通信システムの基礎として、IP アドレスの仕組みや、ネットワークデバイスの役割について学ぶ。具体的には、サブネットワーク化の仕組みや、代表的なネットワークデバイスであるルータの基礎的な設定方法などについて演習を通して身につける。	徳田 誠 弓削商船高等専門学校 情報工学科 准教授

6	マルチメディア概論 (実習を含む。)	文字,静止画,動画,音声などさまざまなメディアの特性を踏まえて,効果的に活用することができるような方法や技術などを学ぶ。さらに,複数のメディアを組み合わせた活用方法を考察する。	田房 友典 弓削商船高等専門学校 情報工学科 教授
---	-----------------------	--	---------------------------------

※「科目5 情報通信システム概論（実習を含む。）」の受講には、以下の条件を全て満たすことが必要です。

<受講要件>

- ・ 基礎的なコンピュータネットワークの知識をお持ちの方
- ・ 特定のアプリをインストールするために、Windows か iOS の OS が動作する PC を準備することが可能な方

※本科目の講義動画 単元1において、特定のアプリのインストールについて、講師より指示があります。

- ・ リアルタイム遠隔授業には、特定のアプリのインストールが完了した方のみ参加が可能です。

テキスト

本年度開講の各講座でテキストを使用する場合は、「志」の講座お知らせページ等でご案内をさせていただきます。オンライン書店での購入をお勧めします。本事務局では、販売の取次は致しません。

1. 「志」について

「志」とは、安心・安全に教育の質を保った授業を継続していくため、講義型やディスカッションを伴う授業など、通常対面で行う授業についても遠隔で実施ができる遠隔学習支援システムです。生体認証機能等を搭載し、本人確認をセキュアに行いつつ、学習コンテンツ（動画等）を遠隔地（自宅・病院等）に配信します。また既存の大規模オンライン学習支援システムにはない、教育のバリアフリー化の実践のために必要な、障害特性に対応したアクセシビリティ機能（情報保障含む）を有します。

2. 定期メンテナンスについて

- ・毎日 2:30~4:00
- ・毎週 水曜日 18:00~19:00（※祝日を除く）

3. Zoom[®]について

Zoom[®]とは、ビデオやマイクを接続し、インターネットを通じて同時に複数人と対面で会話することができるビデオミーティングシステムです。Zoom[®]については同社ホームページ (<https://zoom.us>) をご確認ください。

4. 受講環境について

受講にはインターネット接続が可能な、キーボードとカメラが搭載された端末が必要です。授業でプログラミング等を扱うことがありますので、小さなスマートフォンの画面やキーボードがないタブレット端末などでは作業が難しくなります。そのためパソコンの使用を強く推奨します。

（受講にあたって複数のデバイスで顔画像を登録し、それぞれの端末から受講することは可能です。）

- ※ 科目2「プログラミング言語I（演習・実習含む。）」は、リアルタイム遠隔授業でGoogleアカウントを使用しますので事前にご準備ください。
- ※ 科目3「計測・制御システムの設計」は、授業でGoogleアカウントを使用しますので事前にご準備ください。
- ※ 科目5「情報通信システム概論（実習を含む。）」は、授業で特定のアプリを使用するため、iPadなどのタブレット端末ではご受講いただけません。WindowsかiOSが動作するパソコンをご準備ください。

- ・ウェブカメラ（内蔵カメラ含む）
- ・キーボード
- ・マイク
- ・推奨ブラウザ
 - Microsoft Edge(Chromium) : 92
 - Safari macOS : 12.0
 - Safari iOS : 13.0
 - Google Chrome : 92
- ・推奨 OS
 - Windows : 8.1 - 10

MacOS : 10.13 High Sierra | 11.0 Big Sur

Android : 9-11

iOS : 13 -14.7

・通信速度は 20Mbps 以上を推奨しております。

※上記以降のバージョンでも問題なく動作すると思われませんが、もし動作上の問題が生じた場合は、事務局までメールにてご連絡ください。

別紙3

◆オンライン・ガイダンス日程

全科目共通

	科目名	日時
<p>オンライン・ガイダンス</p> <p>講師：大西 義浩</p> <p>愛媛大学教育学部教授</p>	<p>データ構造とアルゴリズム</p> <p>プログラミング言語 I (演習・実習含む。)</p> <p>計測・制御システムの設計</p> <p>情報システム概論</p> <p>情報通信システム概論 (実習を含む。)</p> <p>マルチメディア概論 (実習を含む。)</p>	<p>9月18日(水)</p> <p>18:30~19:30</p>

◆リアルタイム遠隔授業日程

※科目により回数と時間が異なります。該当科目については全て出席が必要です。

科目 番号	科目名	日時
1	データ構造とアルゴリズム	1回目 11月16日(土) 13:00~17:00
		2回目 12月14日(土) 13:00~17:00
2	プログラミング言語 I (演習・実習含む。)	1回目 11月14日(木) 18:00~20:15
		2回目 11月25日(月) 18:00~20:15
		3回目 12月9日(月) 18:00~20:15
		4回目 1月20日(月) 18:00~20:15
3	計測・制御システムの設計	1回目 11月15日(金) 18:00~20:00
		2回目 11月19日(火) 18:00~20:00
		3回目 1月15日(水) 18:00~20:00
		4回目 1月22日(水) 18:00~20:00
4	情報システム概論	1回目 12月5日(木) 18:00~20:00
		2回目 12月12日(木) 18:00~20:00
		3回目 1月9日(木) 18:00~20:00
		4回目 1月16日(木) 18:00~20:00
5	情報通信システム概論 (実習を含む。)	1回目 11月12日(火) 18:00~20:15
		2回目 11月21日(木) 18:00~20:15
6	マルチメディア概論 (実習を含む。)	1回目 11月22日(金) 18:00~20:15
		2回目 11月26日(火) 18:00~20:15

◆最終試験・最終課題提出日程

科目 番号	科目名	日時（令和7年）
1	データ構造とアルゴリズム	1月31日(金) 17:00~19:00
2	プログラミング言語 I（演習・実習含む。）	
3	計測・制御システムの設計	
4	情報システム概論	
5	情報通信システム概論（実習を含む。）	
6	マルチメディア概論（実習を含む。）	

複数科目の最終試験・最終課題提出が同じ日時に設定されておりますが、複数科目を履修される方は、履修されるすべての科目について受験していただけるように配慮いたします。

最終試験・最終課題提出の実施方法については、「志」上でお知らせします。

愛媛大学 高等学校教諭一種（情報）免許法認定講習 受講承諾書

令和 年 月 日

愛媛大学教育学部長 殿

受講者氏名 _____ 印

(※本人自書により印鑑省略可)

所属校名 _____

勤務先電話番号 (_____ - _____)

愛媛大学高等学校教諭一種（情報）免許法認定講習を受講することを承認します。

所属校名 _____

校長氏名 _____

職印

愛媛大学 高等学校教諭一種（情報）免許法認定講習 申込時届出

令和 年 月 日

愛媛大学教育学部長 殿

受講者氏名 印

(※本人自署により印鑑省略可)

在職期間 年 か月間

(年 月 日から

年 月 日まで)

所属の教育委員会名

所属の教育委員会電話番号

(- -)

愛媛大学高等学校教諭一種（情報）免許法認定講習を受講するにあたり、在職期間と所属の教育委員会名を届出します。

愛媛大学 高等学校教諭一種（情報）免許法認定講習 受講辞退届

受理期限：令和7年1月20日（月）

期限までに受理されるように事務局へご提出ください。

令和 年 月 日

愛媛大学教育学部長 殿

受講者氏名 _____ 印

(※本人自書により印鑑省略可)

志ID _____

所属校名 _____

勤務先電話番号 (_____ - _____ - _____)

辞退される科目 いずれか該当する方の□を塗りつぶしてしてください。

全科目

一部科目

1 受講科目名 全科目・一部科目いずれの場合も、すべて記載してください。

2 辞退理由

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

所属校名 _____

校長氏名 _____

_____ 職印